

# イラン国会議長のモハンマド・バーゲル・ガーリーバーフは米国の主張を否定、イランのホルムズ海峡支配権回復を主張

パレスチナ／クロニクル編集部著、協浜義明訳、パレスチナ・クロニクル、2026年4月18日



イランのハタム・アル＝アンビヤ中央司令部の報道官、エブラヒム・ゾルファガリ中佐。

イランは米国を海賊行為で非難し、ホルムズ海峡の全面的支配を回復した。トランプは交渉の進展を示唆しながら、戦争再開で脅迫。

## \*主な展開：

- ・イランはホルムズ海峡の支配を回復し、海上アクセスを制限。
- ・イラン政府は米国を「海賊行為」と約束違反で非難。
- ・トランプはイランとの交渉の進展を主張し、同時に戦争再開で脅迫。

\*イランはホルムズ海峡の支配を再強化し、以前の状態へ戻したと発表した：イラン軍中央司令部報道官によると、戦略的に重要なホルムズ海峡は引き続きイラン軍の直接管理下であり、厳重な監視下にある。ハタル・アル・アンビヤ報道官は、当初イランは交渉において「誠意」の表明として商船の限定的ホルムズ海峡通過を認めていたが、米国が封鎖と言って「海賊行為」を続けたので、その決定を撤回したと述べた。報道官は、米国が封鎖を解き、船舶がイランの港からの自由な出入りを保証するまで、ホルムズ海峡アクセスを制限すると強調した。イランは、海峡の制限緩和は米国の行動の変化にかかっていることを明確にした。アル・アンビヤ報道官は、ホルムズ海峡の航行安定化は、米国によるイラン船舶への妨害行為の停止が条件となると言った。彼は、こういう条件が続く限りイランはホルムズ海峡の厳しい管理を維持すると付言した。

**\*トランプ大統領、進展を示唆し、脅迫を繰り返す：**トランプ米大統領はイランに関して「いい知らせ」を受けとったと言って、交渉が順調に進んでいることを示唆した。「私はいくつかかなり良い知らせを受け取った…中東ではイランとの間でうまく事が運んでいるようだ」と、トランプは17日エア・フォース・ワン機内で記者団に語ったと、ロイター通信が報じた。しかし、同時に、トランプは、合意に達しなければ停戦は来週まで延長しないだろうと述べ、米国によるイラン港湾の封鎖を続けると付言した。さらに、彼は、軍事エスカレーション再開を脅迫し、「たぶんそれ（停戦）を延長しないだろう。封鎖が続くだろう。残念ながら、再び爆撃を開始せざるを得ないだろう」と言った。

**\*ガーリーバーフ議長、米国の主張を否定：**イラン議会のモハンマド・バーゲル・ガーリーバーフ議長は、トランプ大統領の発言を嘘で、現実離れしていると一蹴した。「彼らはこういう嘘で戦争に勝てなかったし、交渉でもうまくいかないであろう」と言った。議長は、ホルムズ海峡管理は「SNSでなく、現場で決定される」と強調し、海峡航行はイランの条件と許可に基づいて行われると付言した。そして、米のイラン封鎖が続く限り、海峡は完全開放されないと警告した。

以上の動きは、2月28日に始まった米・イスラエルのイラン攻撃が数週間続いた後に、4月8日に仲介された一時停戦の枠組みの中で起きた。現在も続く間接的接触と仲介努力にもかかわらず、合意は程遠く、双方は戦闘エスカレーションに対する備えを言いやっている。

---

訳注<sup>1</sup> イランのホルムズ海峡封鎖下米国のイラン交易封鎖が不明。トランプは自分の頭の中で分かっているのだろうが、他人には何を指示しているのか分からないような、幼児的言語使用が特徴。代名詞使用が多い。